

目次

はしがき……………ステファン・ローゼンタール

ニールス・ボーアと二十世紀の物理学……………湯川 秀 樹

少年時代と青春……………一

決定的な年月 一九二一—一九二八年……………レオン・ローゼンフェルト
……………エリク・ルーディンガー 三

科学者および思想家としての
ニールス・ボーアの瞥見……………オスカー・クライン 六

量子論とその解釈……………ウエルナー・ハイゼンベルク 一〇六

一九二九年—一九三一年の思い出……………ヘンドリック・B・G・カシミール 一三六

相補性概念の地固めと拡張……………レオン・ローゼンフェルト 一三六
——一九三〇年代におけるニールス・ボーア——

興味は原子核に集中している……………オットー・ロバート・フリッシュ 一六五

一九四〇年代と五〇年代……………ステファン・ローゼンタール 一八一

戦時と原子爆弾の見通し……………オーア・ボーア……………三三〇

戦後の時代の思い出……………アブラハム・パイス……………二五八

最も若い弟子からみたニールス・ボーア……………ヨーレン・カルカー……………二七四

ニールス・ボーアの物理学における貢献……………クリスチャン・メラール……………二九〇

ニールス・ボーアと科学の国際協力……………モーエンス・ピール……………二九〇

ニールス・ボーアとデンマーク王立科学院……………ヴィクトル・F・ワイスコップ……………三二一

ニールス・ボーアとリンネ……………ヨハネス・ペデルスン……………三三〇

——デンマークの原子力研究——……………ヴィゴ・カンブマン……………三三七

ニールス・ボーアとデンマーク社会……………モーエンス・ピール……………三三八

友情の五十年……………リチャード・クーラン……………三六三

ニールス・ボーアの多才……………ポール・A・M・ディラック……………三六九

ある協同作業の軌跡……………ハンス・ヘンリック・コッホ……………三七五

ティスヴィルの思い出……………ウィリアム・シャルフ……………三八二

ある印象……………モーエンス・アンデルセン……………三九一

父について……………ハンス・ボーア……………三九七

国際連合への公開書簡……………ニールス・ボーア……………四一五

ニールス・ボーア略歴…………………………四三三

訳者あとがき…………………………四三七

デンマークの地名および人名…………………………四三七